

社会科 授業の手引き



授業では・・・

- ① 忘れ物をしないようにしましょう。
→授業で必要なものは各学年で最初に伝えます。
- ② 黒板に書かれたことは必ずノートに書こう。
→ノートは工夫しよう。板書以外にも先生の話で「これは大切だな!」と思ったことはメモしておこう。
赤ペンや他の色ペンを活用してわかりやすいノートを作ろう。
- ③ 思ったことをどんどん発言しよう。特に「?」と感じたことは必ず質問しよう。

復習は・・・

- ① 教科書をもう一度読み直そう。
- ② ノートを見返そう。
→10 分間、その日のノートを読み直してみよう。先生の語ったこと、クラスの仲間の発言などを思いおこすことでその日の授業の記憶が定着します。
- ③ 宿題が出たらその日のうちに片付けよう。
→まだ、授業の内容がしっかりと記憶に残っているうちに仕上げよう。
全部やっても 15～20 分ほどの時間ですむはずですが、これだけで、その後の授業がわかりやすくなり、定期テストや小テストでも良い結果が出るようになるはずですが。

テスト前に・・・

- ① テストの準備は早めにスタートしよう。遅くとも 1 週間前からスタートするべきです。
- ② 「毎日の確認」等、配布されたプリントを丁寧に答え合わせをして覚えよう。

テスト後に・・・

- ① 提出物は締め切り日に注意して必ず出そう。
- ② 返却された答案はていねいに答え合わせをしてなくさないようにノートにはろう。

その他

- ① 新聞やテレビのニュースで地理・歴史・公民の最新情報を集め、知識を増やそう。
- ② 世界の情報を紹介したテレビ番組や、歴史上の人物をテーマにしたドラマを見ること、そうした本を読むことも社会科の学習といえます。むずかしく考えずにいろいろと興味をもって見るのが大切です。